



“笑顔、挨拶、みんなの自慢”を大宮別所小に

校長 神田 朋恵

三寒四温という言葉がぴったりの3月でした。桜が一気に開花したと思ったら、花冷えの雨。現在、桜は見頃を迎えていますが、4月1日は雨の中、新転入職員を迎え、今年度がスタートしました。

児童の皆さん、保護者の皆様におかれましてはお子様の、御進級、御入学おめでとうございます。心より御祝い申し上げます。今年度は、新入学児童124名、転入学児童4名を迎え、全校児童744名、26学級、教職員59名でのスタートとなります。教職員一丸となって、大切なお子様をお預かりいたします。私も3年目となりました。どうぞよろしくお願いいたします。

始業式で、子どもたちに次のような話をしました。

学校は、『勉強するところ』、『友達と仲よくするところ』です。

『勉強』とは、国語や算数、運動だけではなく、優しい気持ちをもったり、頑張りを続けることだったり、テストで点数のつかないこともたくさん含まれます。一人でも勉強はできますが、お友達が一緒だったらもっと楽しいし、もっといろいろな考えを知ったり深めたりすることができます。そんな勉強を、友達や先生とたくさんしてください。

『友達と仲よく』することは大人になっても大切です。友達がいると嬉しくなるし、勇気が出ます。今、新しいクラスになり、どんな人がいるかな、どんな先生かなと、ドキドキしている人もいるでしょう。でも、次の言葉が言えたら大丈夫です。挨拶や返事をする、嬉しい気持ちになったら「ありがとう」、悪いことをしたと思ったら「ごめんなさい」。ほんの少しの「勇気」を出して、自分の気持ちを伝えましょう。そしてもう一つ。「(靴箱の)靴のかかとを揃えましょう。」靴を揃えようと心も整います。



学校教育目標【～大きな夢 力いっぱい～ 夢と希望をもち 豊かな心でたくましく生きる子の育成】の具現化に向けて、子どもを中心に据え、一人ひとりを大切に、誰一人取り残されない教育活動を展開してまいります。主役は子どもです。子どもが「通いたい」、保護者が「通わせたい」、教職員が「働きたい」、そして地域に「信頼され、愛される」学校創りを目指し、教職員一同、全力を尽くしてまいります。教職員は最大の教育環境であると肝に銘じ、児童に寄り添い、支え、協働・共励する教職員を目指します。保護者・地域の皆様、本年度も引き続き本校の教育活動に御理解御協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。お子様のことで御心配御不明な点がございましたら、いつでもどうぞ御相談ください。

最後になりましたが、人事異動により教職員の異動がありました。大宮別所小学校を離れた教職員に対しまして、これまでの御支援に厚く御礼申し上げますとともに、新たに着任いたしました教職員に対しましても御支援を賜りますようお願い申し上げます。